

## アルファルファタコゾウムシの発生について

### 1 発生の経緯

平成 27 年 5 月に宮城県名取市のレンゲほ場において、ゾウムシ類の寄生が認められたとの情報提供を受け、同ほ場を調査したところ、レンゲの葉や茎を加害するゾウムシ類の幼虫、成虫および蛹の繭を多数確認した。これらのゾウムシ類を農林水産省横浜植物防疫所塩釜支所に同定依頼した結果、アルファルファタコゾウムシであることが確認された。本種は、マメ科牧草を加害するヨーロッパ原産の侵入害虫であり、日本では昭和 57 年（1982 年）に福岡県と沖縄県で初めて発生が確認されて以来、分布を拡大している。平成 15 年には関東以南の 1 都 2 府 31 県と北海道において発生が確認されており、東北では平成 20 年に福島県で発生が認められている。

### 2 発生状況

- (1) 発生作物 レンゲ  
(2) 害虫名 アルファルファタコゾウムシ  
*Hypera postica* (Gyllenhal)

### 3 形態的特徴

成虫の体長は 4.0~6.5mm で、体の表面は灰色がかった褐色の鱗片で覆われ、背中の中央部はより濃い色となっている（図 1）。

孵化直後の幼虫は無色透明であり、発育に伴い緑色を帯び、成熟すると幼虫は濃緑となる。成熟幼虫は体長が 10mm 程度、頭部は黒色で、背中の中央に 1 本の白い縦線がある（図 2）。

蛹は白色、球形でレース状の繭をつくり（直径約 6.5mm）その中で蛹になる。繭は、寄生植物の茎葉や枯葉などに包み込まれるように形成される。

### 4 生態

本種の発生回数は年 1 回である。幼虫のふ化は 3 月頃からみられ、幼虫はレンゲなどのマメ科植物の茎葉や花を摂食しながら成長し、4 齢を経て繭をつくり蛹化する。羽化後、成虫は 10 日ほどマメ科植物の茎葉を摂食し、その後、樹皮下や枯れ草などに移動して休眠（夏眠）する。成虫は晩秋（11 月頃）に休眠から覚め、寄主植物に移動して約 1 か月間摂食した後、交尾、産卵する。成虫は越冬休眠はせずに成虫越冬する。

宮城県における本種の発生消長は明らかではないが、九州地方では幼虫の発生盛期は概ね 4 月頃、新成虫は 5 月上旬頃から発生し、5 月~6 月に盛期となると報告されている。

本種の寄主植物は、レンゲ、アルファルファ、シロツメクサ、カラスノエンドウ等のマメ科植物である。被害は幼虫による寄主植物の茎葉や花の食害が主であるため、発生を確認する際は、幼虫のふ化期である 3 月以降にほ場で作物の茎葉に食害痕や幼虫・繭（蛹）がついていないかを調査する（図 2~4）。また、新成虫が高密度に発生し、餌不足になると、ソラマメ、ダイズ、インゲンマメ、エンドウ、キュウリ、メロン、ジャガイモ等も加害する場合がある。

## 5 防除対策

- (1) 薬剤散布は、幼虫発生期（3～4月頃）に行う。防除薬剤としては、マメ科牧草のゾウムシ類に対して、MEP乳剤が使用できる。レンゲ（緑肥用）のアルファルファタコゾウムシに対しては、プロチオホス細粒剤が使用できる（表1）。なお、レンゲ等では養蜂業者が採蜜している場合があるので、連携をとり、薬剤散布については十分に配慮する。
- (2) 耕種的防除法としては、新成虫が発生する前（4月頃）に寄主植物を完全に収穫・除草をするか、耕起・湛水して幼虫を死滅させる。

表1 アルファルファタコゾウムシ又はゾウムシ類に登録がある薬剤

薬剤名	有効成分	作物名	適用病害虫	希釈倍数	使用時期	使用回数	使用方法	有効成分の総使用回数
トクチオン細粒剤 F	プロチオホス	レンゲ（緑肥用）	アルファルファタコゾウムシ	6kg/10a	開花前	1回	散布	1回
スミチオン乳剤	MEP	マメ科牧草	ゾウムシ類	1000～2000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内

（登録内容は平成27年6月19日現在）



図1 成虫



図2 幼虫



図3 繭



図4 レンゲの食害

## 6 分布状況

5月下旬～6月上旬にかけて県内132地点（主に病害虫防除所の巡回調査ほ場）で、ほ場周辺の寄主植物を見取り法及び払い落とし法で調査した結果、24地点で本種の発生が確認された（図5）。

発生が確認された寄主植物は、農道や畦畔に自生しているシロツメクサが主であり、農作物への寄生は確認されなかった。今回の調査では県南部～県中央部、沿岸部まで本種が分布していることが確認されたが、発生が確認されなかった県北地域についても、寄主植物であるシロツメクサやカラスノエンドウが普通に自生していることから、実際はより広範囲に分布している可能性がある。



★：第一発見場所（名取市）

- ①角田市角田
- ②角田市藤田
- ③白石市福岡八宮
- ④柴田町成田
- ⑤蔵王町平沢
- ⑥岩沼市押分
- ⑦岩沼市長岡
- ⑧名取市愛島笠島
- ⑨名取市高館川上
- ⑩川崎町支倉
- ⑪仙台市泉区西田中
- ⑫利府町森郷
- ⑬利府町春日
- ⑭富谷町大童
- ⑮富谷町二ノ関
- ⑯大和町落合相川
- ⑰大和町落合檜和田
- ⑱大郷町鶉崎
- ⑲大衡村駒場
- ⑳大崎市鹿島台木間塚
- ㉑松島町北小泉
- ㉒東松島市浅井
- ㉓石巻市蛇田
- ㉔涌谷町小里

図5 アルファルファタコゾウムシの発生が確認された地点  
（5月下旬～6月上旬調査）

### <問い合わせ先> 宮城県病害虫防除所予察班

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号（宮城県仙台合同庁舎内）

TEL 022-275-8982, FAX 022-276-0429

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/>

### 宮城県農業・園芸総合研究所園芸環境部

〒981-1243 名取市高館川上字東金剛寺1番地

TEL 022-383-8246, FAX 022-383-9907

[http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res\\_center/](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/)